

事業所職員向け 児童発達支援自己評価表

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	✓		
	② 職員の配置数は適切であるか	✓		3 : 1 の配置で手厚く療育実施
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	✓		絵カード、写真を提示し分かりやすい知らせ方を心がけている
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	✓		冷暖房完備および防音設備が整っている
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	✓		
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	✓		年1度アンケートを実施し業務改善につなげている
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	✓		保護者アンケート結果は施設内に掲示 事業所評価はホームページで公開している
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		✓	2019年度に実施予定
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	✓		法人内外の研修に積極的に参加
適切な支援の提供	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	✓		
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	✓		
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	✓		
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	✓		ケース記録に個々の目標を記入し意識できるようにしている

	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	✓		
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	✓		
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	✓		
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	✓		朝のミーティング時に1日の活動等情報共有、確認を行っている
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	✓		1日の出来事、反省等を情報共有の時間を設けている
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	✓		個々の連絡帳及び個別ケースに記録し支援に反映している
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	✓		6か月に1度計画のモニタリングを実施
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	✓		
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	✓		
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか		✓	対象児なし
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか		✓	対象児なし
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	✓		子育て支援センターとの情報共有に努め、移行支援への情報共有・相互理解を行っている
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	✓		そよかぜ相談および幸田町教育委員会と情報共有・相互理解を行っている
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	✓		西三河児童福祉施設長会にて連携を図っている
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	✓		公立保育園と年36回交流保育を実施

	②⑨	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	✓		自立支援協議会、児童発達通所部会に参加
	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	✓		日々の姿は毎日の連絡帳や電話、面談等で共通理解を図っている
	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	✓		ペアレントメンターを派遣し講座の機会を設けている
保護者への説明責任等	③⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	✓		重要事項説明書で詳しく説明
	③⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	✓		
	③⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	✓		
	③⑮	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	✓		
	③⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	✓		
	③⑰	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	✓		毎月センターだよりを発行し紙面にて発信。また、すぐメールでの情報配信も行っている
	③⑱	個人情報の取扱いに十分注意しているか	✓		
	③⑲	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	✓		
	④①	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	✓		夏祭りを開催
	非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	✓	
④②		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	✓		毎月避難訓練を実施(地震・火災・バス訓練等)
④③		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	✓		入所時および健康診査時に嘱託医と共に確認

④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	✓		管理栄養士・看護師が確認し 担当職員および職員間で共有している
④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	✓		
④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	✓		研修に積極的に参加
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか		✓	今後、対象事例があれば保護者と協議し進めていく

○この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。

「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。

アンケート調査集計結果と分析（親子・単独）

配布 153 人 110 人回答（回収率 72%）

内訳：親子配布 100 人配布 72 人回答（72%）

単独配布 53 人配布 38 人回答（71.7%）

1. アンケート回答者について

（1）回答者（利用者様）の性別

①男児 89 人 ②女児 20 人

2. サービスの利用について

（1）利用（開館日や利用時間など）はしやすかったですか。

①とても良い 51 人（47%） ②良い 51 人（47%） ③あまり良くない 6 人（5%）
未記入 1 人（1%）

（2）療育内容（活動や行事など）はいかがでしたか。

①とても良い 56 人（51%） ②良い 49 人（45%） ③あまり良くない 5 人（4%）

（3）保護者向けの講演会や講座内容はいかがでしたか。

①とても良い 27 人（25%） ②良い 55 人（50%） 未記入 28 人（25%）

3. 給食の献立について

①とても良い 44 人（40%） ②良い 56 人（51%） ③あまり良くない 7 人（6%） ④
良くない 1 人（1%） 未記入 2 人（2%）

4. 送迎サービスについて（※単独通所のみ回答）

①とても良い 19 人（50%） ②良い 13 人（34%） ③あまり良くない 4 人（11%） 未
記入 2 人（5%）

5. 職員の対応について

（1）あいさつや言葉遣いは丁寧でわかりやすかったですか。

①とても良い 82 人（75%） ②良い 27 人（24 人） 未記入 1 人（1%）

（2）対応は親切でしたか。

①とても良い 84 人（76%） ②良い 24 人（22%） ③あまり良くない 2 人（2%）

（3）毎月の書類（実績記録票、請求書、領収書など）は正しく配付されていましたか。

①とても良い 74 人（67%） ②良い 32 人（29%） ③あまり良くない 1 人（1%）
未記入 2 人（2%）

6. 施設の維持管理について

（1）清掃や整理整頓が適切にされていましたか。

①とても良い 79 人（72%） ②良い 28 人（25%） 未記入 3 人（3%）

(2) 設備や遊具は安全で良好な状態が保たれていましたか。

- ①とても良い 69 人 (63%) ②良い 36 人 (33%) ③あまり良くない 3 人 (2%)
未記入 2 人 (2%)

7. 案内や情報表示 (センター便り、掲示物など) はわかりやすかったですか。

- ①とても良い 43 人 (39%) ②良い 60 人 (55%) ③あまり良くない 5 人 (4%) ④
良くない 1 人 (1%) 未記入 1 人 (1%)

8. 保護者参加の行事について (単独通所のみ回答)

- ①とても良い 16 人 (43%) ②良い 16 人 (43%) ③あまり良くない 2 人 (5%) ④
良くない 2 人 (5%) 未記入 2 人 (5%)

9. その他、当施設についてご意見やご希望などがありましたらお書きください。

36 人の方々からご意見・ご要望を頂きました。

【集計分析】

回答のうち「とても良い」「良い」を合わせると全体に 90%を超える良い評価が得られた。中でも問5職員の対応、問6施設の維持管理は高く評価されている。保育士だけに限らず受付、警備、清掃、運転手皆々が明るく元気に挨拶、声掛け丁寧な対応が好印象となっている。

「親切丁寧・迅速な対応・保護者の気持ちの理解・相手の立場にたつての対応」それらが信頼感や安心感をもって利用につながる事を心に留め今後も継続して実施していく。

利用については、現状の時間で満足されている方が多い中、療育時間を早めてほしい、遅くまでやってほしいという声もある。今後、取り組まなければいけない課題かと認識している。また親子通所に関しては人数の多さに通いたくても通えない、日数制限をかけられる事に残念という声がある (特に年度後半)。これは (旧) めばえの家時代でも例年聞かれた声であった。受け入れ人数に限りがある中で、1日でも多く通いたいという気持ちに添えていく為にキャンセル情報だけでなく、療育内容の質の向上を図り納得、ご理解していただけるように契約時に説明を行っていききたい。

療育については、多くの方にご満足頂いているが、単独通所から (一部の方ではあるが) 良質な療育環境になっていないのでは (人手不足、遊具への不満等) と残念な声もある。すべてを改善する事の難しさはあるが、改善できるところから進め多くの時間をかけながら環境整備に努めていきたいと思う。

講演会については、参加者が少ないが (特に単独) 参加された方からは良い評価を頂いた。今後も、保護者の方が関心や興味を持たれる内容を重視し参加率を上げていきたい。

給食については、多くの方よりご満足を頂いているが 親子・単独共に提供される量が少ないのではという声がある。ご負担を頂いている金額と合わせて一度検討していききたい。

送迎については、車両と利用児数の関係もある。利用される方が納得の上であることが一番

であることから、保護者確認をしっかりいきたいと思う。

案内や情報表示に関しては、多くの方から良い評価を頂いてはいるが、センター便り・掲示物の見にくさ、伝わりにくさがあるようなので今後改善に向けて取り組んでいく。

保護者参加の行事については、発達センターの駐車スペース問題、センターは土曜日も開館という部分での保護者への説明不足がありご理解が得られていない部分もあるように感じる。行事を開催するにあたりさまざまな事を幅広く検討し、保護者へ説明する場と合わせて了承をしていただくなど次年度に向けて進めていきたい。

今回のアンケートで多くのご意見・ご要望の声を頂いた。保護者方々の貴重な意見を真摯に受け止め、改善すべき点を職員で共有しより良い療育、サービス提供につなげていきたいと思えます。

事業所における自己評価結果（公表）

別紙3

公表：平成30年 4月1日

事業所名 こども発達支援センター

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	✓			
	②	職員の配置数は適切である	✓		3：1の配置で手厚くまた、児の状態で配置職員数の調整をしている	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	✓		絵カード、写真等で分かりやすい知らせ方を心がけている	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	✓		冷暖房、防音設備が整っている	
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	✓			
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	✓		年1度アンケートを実施し業務改善につなげている	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	✓		保護者アンケート結果は施設内に掲示 事業所評価はホームページで公開している	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		✓		2019年度実施予定
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	✓		法人内外の研修に積極的に参加	
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	✓			
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	✓			
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	✓			

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	✓		ケース記録に個々の目標を記入し意識できるようにしている		
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	✓				
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	✓				
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	✓				
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	✓		朝のミーティング時に1日の活動等情報共有確認を行っている		
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	✓		1日の出来事、反省等を情報共有の時間を設けている		
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	✓		個々の連絡帳および個別ケースに記録し支援に反映している		
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	✓		6か月に1度計画のモニタリングを実施している		
	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	✓				
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	✓				
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		✓		対象児なし	
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		✓		対象児なし	
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	✓			子育て支援センターとの情報共有に努め、移行支援への情報共有・相互理解を行っている	
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	✓			そよかぜ相談および幸田町教育委員会と情報共有・相互理解を行っている	
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	✓			西三河児童福祉施設長会にて連携を図っている	
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	✓			公立保育園と年6回交流保育を実施している	

	②9	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	✓		自立支援協議会・児童発達通所部会に参加	
	③0	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	✓		日々の姿は毎日の連絡帳や電話・面談等で共通理解を図っている	
	③1	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	✓		ペアレントメンターを派遣し講座の機会を設けている	
保護者への説明責任等	③2	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	✓		重要事項説明書で詳しく説明している	
	③3	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	✓			
	③4	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	✓			
	③5	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	✓			
	③6	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	✓			
	③7	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	✓		毎月センターだよりを発行し紙面にて配信 また、すぐメールで情報配信も行っている	
	③8	個人情報の取扱いに十分注意している	✓			
	③9	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	✓			
	④0	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	✓		夏祭りを開催	
	非常時等の対応	④1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	✓		不審者訓練、感染症対応訓練を実施している
④2		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	✓		毎月避難訓練を実施 (地震・火災・バス訓練等)	
④3		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	✓		入所時及び健康診査時に嘱託医と共に確認	

④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	✓		管理栄養士・看護師が確認し担当職員及び職員間で共有している	
④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	✓			
④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	✓		研修に積極的に参加	
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している		✓	今後、対象事例があれば保護者と協議し進めていく	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。